

北海道がんセンター 呼吸器外科

〒003-0804 札幌市白石区菊水4条2丁目3-54

https://hokkaido-cc.hosp.go.jp/thoracic_s/index.html



当科の概要

1992年より、故 近藤 啓史 先生が、全国に先駆け、胸腔鏡手術をスタートし、縦隔リンパ節郭清を含めた安全で確実な手術を行ってきました。当科は、良性疾患を含め年間300症例近くの手術や外来・入院診療を行っております。現在では全手術症例の約9割を完全胸腔鏡手術にて行っております。これまでの胸腔鏡手術の場合は、創は3カ所（約3-4cm, 2cm, 1cm）で行っていましたが、近年では安全・確実な手術を保ちながら、より一層低侵襲な手術を目指して、創を1つとした単孔式胸腔鏡手術や精緻な動きが可能なロボット手術に取り組んでおり約4割を占めるようになっております。一層、疼痛の軽減が可能となってきおり、今後も安全・確実・低侵襲な手術を提供してまいります。また、胸腔鏡手術では難しい気管支、血管や胸壁などの浸潤が考えられる症例に対しても開胸にて積極的に手術を行っております。

循環器疾患、脳血管疾患、腎疾患など、様々な合併症・併存症を持った症例や、高齢者に対しても対応しております。高齢者は様々な併存症を抱えているばかりではなく、ADLの低下も認めることが多いですが、低侵襲な手術を行うことや、個々の症例に応じて治療を行っております。切除不能症例に対しては、呼吸器内科・放射線科と連携し、症例に応じて化学療法・放射線療法を含めた集学的治療を積極的に行っております。進行度に関わらずお気軽に御相談ください。

患者さんの紹介につきまして

肺癌が疑われる症例ばかりではなく、縦隔・胸壁腫瘍、気胸、その他の呼吸器疾患についても対応しております。胸部X線やCTで陰影がたまたま見つかったなど、癌かどうか分からないような症例についても、常時対応しております。気管支鏡検査や胸腔鏡下手術により組織採取で診断可能です。外来受診・入院は、待機期間が無く迅速に対応できますので、下記地域医療連携室に御連絡ください。

直通FAX : 011-811-9110 直通電話 : 011-811-9117

受付時間 / 9時00分～17時00分 月～金（土・日・祝は除く）

* 緊急性の高い場合は、時間外でも直接お電話頂けますと幸いです。

呼吸器外科 電話（代表）：011-811-9111

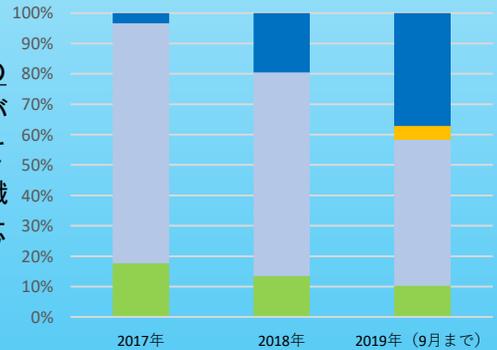


単孔式手術の創部



ロボット手術

肺癌・肺転移の最近の手術方法の変遷



■ 開胸手術

■ 従来型胸腔鏡手術

■ ロボット手術

■ 単孔式胸腔鏡手術



安達 大史



水上 泰



多田 周